



令和2年12月11日

岐阜市立岐阜東幼稚園
こあら組だより No.25

ほかほかの焼き芋

先週の金曜日の朝、子供たちは園庭の焚き火を見て、焼き芋への期待感を高めていました。前日に、園庭の葉っぱを集めました。イチヨウの葉っぱは燃えにくいので、ユリノキやナンキンハゼが適しています。「茶色の葉っぱと赤の葉っぱ、見つけたよ。」と焼き芋の火が燃えやすいように、みんなで葉っぱを集めました。帰りの会では、10月に畑でサツマイモを掘ったことを思い出し、『いもいもほりほり』（西村敏雄 講談社）の絵本を見ました。登場人物のブタさんたちが、焼き芋を食べていました。明日、焼き芋をすることを話すと、「本当に食べられるの?」「どこで焼き芋するの?」と初めての経験だからこそ、より楽しみなようでした。

遊びながら待っていると、ほかほかの焼き芋ができました。手のひらにハンカチを広げた上に焼き芋を載せて、アルミホイルとペーパーを開いていきます。焼き芋にかじりつくと「うまーい。」「最高!」「おいしい。」「甘い!」などと大喜びでした。自分で掘ったお芋で、芋が焼き上がる過程を傍で見て、秋ならではのおいしい経験ができました。



観劇、楽しかったね

コロナ渦で、園児だけの観劇となってしまいましたが、子供たちの表情や言葉から、みんなで観劇をし、笑ったり拍手をしたりして、一緒に楽しむ時間がとれたことが、良かったなと思いました。

風の子中部の方は、頭が天井につく程の高さの竹馬にスイスイと乗って見せてくださったり、2本の大縄の中で縄跳びを跳ばれていたりして、子供たちはとてもびっくりして喜んでいました。

岐阜市は和傘の生産が全国1位ということも紹介していただき、色や仕組みをした提灯をかぶってお殿様と犬の2役をする工夫もありました。絶妙な間があり、楽しめました。

「私も大きくなったら、一輪車に乗りたい」

年長さんで、一輪車に乗れるようになった子がいます。Aさんは、その子が園庭でバランスをとりながら一輪車に乗るのを憧れの眼差しで見っていました。「Bちゃん、すごい。私も大きくなったら、一輪車に乗りたい」と話してくれました。一輪車はとても難しい遊びです。年中の2月頃から根気よく練習してきたのです。

園内に憧れる年長児の姿があることはうれしいことです。また、いろいろなところにアンテナをはって、自分なりの目標を言葉にしているBさんもすてきです。Bさんは、うんていや鉄棒の逆上がりもできます。一輪車に乗ったときに足が届くようになったら、練習を始めるのだろうと、だいぶ先ですが、楽しみです。